

教 特別活動論

Study of Extra-Curricular Activities

KONISHI Etsuko
小西 悦子

科目ナンバリング：UTL-2-311-03



■授業の目的及び到達目標

学習指導要領における特別活動の教育的意義、目標、内容について理解を深め、指導計画の作成や具体的な指導方法を学ぶことにより、教師としての資質・能力を高められることを目的とする。また、学習指導要領における特別活動の目標、内容及び内容の取り扱いについて理解し、特別活動の指導計画を作成できることを到達目標とする。

■授業計画

- 1 特別活動の特質と意義
特別活動の特質と教育的意義、特別活動の歴史の変遷等について概観する。
- 2 教育課程と特別活動
学習指導要領における教育課程の編成と特別活動、特別活動の目標と内容、構成等を理解する。また、特別活動と各教科、道徳、総合的な学習(探究)の時間との関連について、補完性、共通点、相違点等を理解する。
- 3 生徒指導と特別活動
学級担任における生徒指導の目的、機能、領域及び内容、生徒指導と生徒理解、特別活動と生徒指導との関連、「チームとしての学校」の視点や家庭・地域・関係機関との連携等について理解する。
- 4 人間関係づくりと特別活動
集団活動の意義、子供たちの人間関係形成にかかわる課題、望ましい人間関係づくりについての理解を通して学級や学年の指導に役立てる。
- 5 人間関係づくりの演習
自己理解、他者理解、信頼体験、シェアリング等の演習を通して学級や学年における人間関係づくりの指導の技法を身に付ける。
- 6 社会性の育成と特別活動
子供たちの社会性と今日的課題、社会性の育成と特別活動の目標、望ましい集団活動、社会性をはぐくむ視点や社会参画を促す視点から特別活動の指導を考える。
- 7 学級(ホームルーム)活動の事例研究
学級活動の目標、学級活動の内容(学級や学校の生活の充実と向上、健康と安全、学業と進路)、特質について理解し、指導内容を検討する。
- 8 学級活動の指導計画と指導案の作成・評価
年間指導計画の例示をもとに、1単位時間の指導計画を作成する。
- 9 生徒会活動の指導と事例研究
生徒会活動の目標、意義と役割、内容、特質、指導計画の作成、指導上の留意点などについて理解する。
- 10 学校行事の指導と事例研究
学校行事の目標、教育的意義、内容、特質、各学校行事のねらいと指導上の留意点などについて理解する。
- 11 学校行事の指導と評価
学校行事の年間指導計画、個別の行事の指導計画を作成する。
- 12 特別活動と部活動
特別活動と部活動の類似点を確認した上で、部活動の教育的意義と課題について考察する。
- 13 学修のまとめ
学修のまとめとして総合的な試験を行い、フィードバックとしての解説を行う。

■授業の方法

- ・教科書や参考資料に基づく講義を中心とし、項目ごとに学習のまとめを行って内容の定着を図る。
- ・講義に基づいて個人研究やグループ研究のほか、集団活動の演習と発表等も適宜行う。
- ・課題等のフィードバックは翌回の授業冒頭で行う。

■予習・復習

- ・本時の関係箇所についてテキストを通読する。また、自分の中学校、高校時代の特別活動をまとめておく。
- ・印象深い先生の思い出とその指導について考察する。
- ・文部科学省及び国立教育研究所のHPに目を通しておく。

■成績評価の方法(成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い)

課題への取り組み、レポート等の提出物、試験の結果により総合的に評価する。
試験 60%、学修への取組状況(課題の達成状況等) 40%
講義冒頭で提出物や課題の解説・振り返りをする。
毎回話し合い活動を行う。

■教科書・参考書

教科書：渡部邦雄他編著『改訂第2版 特別活動指導法』(日本文教出版)

参考書：『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 特別活動編』『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 特別活動編』

■関連する科目

「教職論」「教育原理」「教育課程論」「生徒指導論」「総合的な学習の時間指導論」などの教職課程科目が直接関連する。

■当該科目の実務経験(該当する場合のみ記載)

担当教員は、私立および公立高等学校における通算36年間の勤務を通して、多様な生徒集団のクラス担任と保護者対応の実務経験を有している。また、特別活動の指導・研究の実績をふまえ、実践的な講義と演習を行う。